

●発行月 令和7年3月

●発行 岩手県立中央病院 地域医療福祉連携室 〒020-0066 盛岡市上田1-4-1 TEL 019-653-1151 (代)

「地域医療連携推進の基本方針」

- | | |
|-------------------------|----------------------------|
| 1. 顔の見える連携 | 5. 24時間救急受け入れ体制 |
| 2. 地域連携バスと逆紹介の推進 | 6. 地域医療福祉連携室を通じた地域包括型連携の推進 |
| 3. 紹介患者の迅速予約と優先診療 | 7. 高額医療機器の共同利用推進 |
| 4. PHSによるDr.Direct Call | 8. 地域医療研修センターの利用の推進 |

年度末のご挨拶

院長 宮田 剛

岩手県立中央病院院長の宮田剛です。いつも当院の運営にご協力をいただきましてありがとうございます。

他人事のようにだった少子高齢化や人口減少の進行が、確実に目の前に見えてきた本県では、医療の対象者も減るのかもしれませんが、その前に医療提供側の減少も切迫した問題になってきており、物流業界などと同様に危機感を持って取り組んでいかなければなりません。人工知能（AI）やロボットの活用、医療機関の集約化と連携が必須と言われていますが、全体としての未来像の明確で具体的な病院イメージを持っていないことから、不安だけが先立っているようにも感じます。

これとは別に、薬品費をはじめとする医療費が高騰して財政を圧迫していることから政府が提案した高額療養費の限度額引き上げに関しては、本当に高度な医療を必要としている人を遠ざける案として強い反発を招き、結局法案凍結の事態となりました。そこは本当にお金のかかる部分であるとは認識しつつも、社会保障として担保していかなければならない部分ではないかと思えます。当院の救急受診患者さんを見ると、軽症で受診される方の数は、コロナ禍を契機に2-3割減っています。COVID-19の検査もドラッグストアでキットを買って自宅で検査できる手立ても整ってきたこと等を始め、世の中に健康管理に関する情報も容易に入手可能な時代になり、自己健康管理意識の向上を感じます。世間の怪しい情報に注意すべき点もありますが、我々病院が対応してく患者層の変化を感じます。

マイナ保険証の普及も着実に進んでおり、

電子処方箋も近々常識になっていくものと思います。ポリファーマシーの解消も大きな課題ですが、病院とクスリに頼る文化から、栄養や運動の普及で、自力で解消できることを増やしていく時代に転換していかなければならないように思います。「医療費の財政圧迫」という理由でここに行きつくのは本意ではありませんが、ひとつのきっかけとして活かさない手はないと思います。

先月、当院の電子カルテシステムが7年ぶりにベンダーが更新されました。更新作業の際には救急受入れを全面ストップするなど、各方面に多大なご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。今後は新しい電子カルテシステムによって病院機能を効率化し、地域の医療ニーズに細やかに応えていけるように精進してまいりますので、これからもどうぞご協力のほどお願いいたします。私事にはなりますが、宮田は今年度をもって院長定年となります。これまでのご厚情に御礼を申し上げます。ありがとうございました。



地域医療福祉連携室長年度末のごあいさつ



地域医療福祉連携室長 (血液内科長) 村井 一範

平素より岩手県立中央病院の地域連携にご協力いただき感謝申し上げます。2024年もCOVID19感染の患者数は減少せず、職員もこの3年で延べ1,200人の感染者が集計されました。この数値は4分の3以上のスタッフに罹患歴があることを意味しており、まさにwith Corona Virusの時代になったと言えます。今年も院内はいくつかの大きな出来事がありました。列挙すると1) 病院機能評価の受審、2) 電子カルテ更新、3) 経常損益の悪化などです。この経常損益の悪化の要因は(1) 診療報酬の削減、(2) 費用増加、(3) 補助金の減少、(4) 患者数の減少など多岐に渡ります。いずれも地域医療に関連することです。当院の患者数は入院外来ともにコロナウイルスパンデミック前の水準に戻ってはおりません。この点について、人口が減ったあるいは受診抑制が継続している以外の要因もあるのか検討する必要があります。そこで地域連携室は、191医療機関の先生方に2024/7/22から8/9にかけてアンケート調査をさせていただき、125医療機関(65.4%)の先生方からご回答を頂戴しました。この一部をご紹介します。質問事項は①患者さんを岩手県立中央病院にご紹介いただく際の当院の対応について、②患者さん受診後の岩手県立中央病院からの返書のあり方について、③岩手県立中央病院から患者さんを紹介させていただく際の対応について ④上記3項目についての自由記載 以上4項目です。

図を添付させていただきますが、①から③についてはおおよそ90%前後の先生から満足、ほぼ満足のお答えを頂戴しました。自由記載の主なものは表にまとめさせていただきました。この中で接遇など直ちに対応すべきことは担当部署と情報共有し改善するよう依頼しました。返書ならびに受診後の情報提供に関しては、お求めいただく内容も一律なものではないようです。そのため地域医療ネットワークシステムの浸透を目指したいと考えております。予約については問題が山積しているものと認識しました。昨今は交通機関や外食の予約などネットの普及には著しい変化があります。それに比べると病院の予約システムは遅れているのが現状ではないでしょうか。もちろん医療は生存権に関わり、デリケートな内容も含まれております。そのため交通機関などと同列には論じられませんが、改善できることから引き続き取り組ませていただきたいと存じます。

地域内における当院の機能や役割を理解し、患者さんが適切な医療サービスを受けられるよう、引き続き努力させていただきます。宜しくお願い申し上げます。

アンケート期間：2024年7月22日(月)～8月9日(金)

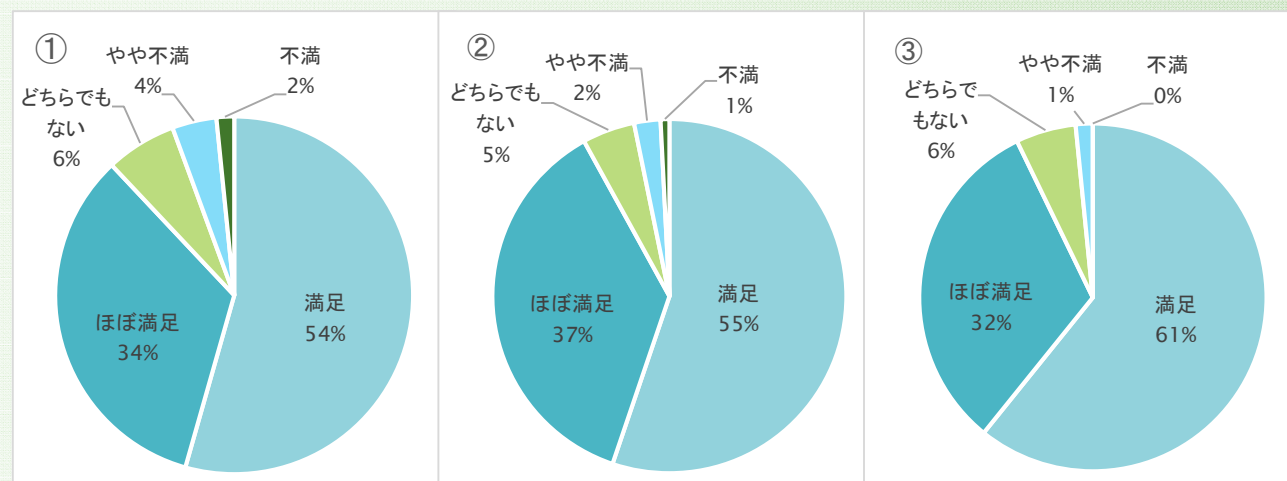
アンケート送付医療機関：191医療機関

回答医療機関：125医療機関

～アンケート内容～

- ①患者さんを岩手県立中央病院にご紹介いただく際の当院の対応について
- ②患者さん受診後の岩手県立中央病院からの返書のあり方について
- ③岩手県立中央病院から患者さんを紹介させていただく際の対応について
- ④自由記載

- ・満足、ほぼ満足の回答が①～③いずれも90%近くを占めた。
- ・自由記載欄には満足と回答した方を含め改善を求める意見が見られた。



④自由記載のご意見

- ・忙しそうなのに外来増やして大丈夫か？
- ・以前忙しくて紹介して欲しくないと言われた。
- ・入院のハードルが高い。
- ・予約の返事が来るまでに時間がかかる。
- ・予約日までの日数が長い。
- ・Faxが混みあってつながらない。
- ・返書が来ないことがある。
- ・診断、見通し、検査結果、経過、方針変更、転科等の報告が欲しい。
- ・救急受診後、近医受診を勧めるときは情報提供書が欲しい。
- ・研修医の電話での対応が悪い。
- ・ガイドラインに沿った診療をして欲しい。
- ・適応外処方のまま紹介しないで欲しい。

地域医療連携ネットワークシステムのご案内

地域医療福祉連携室

当院での診療情報を、インターネット回線を通じて事前に登録した地域の医療機関で閲覧することができる『岩手県立中央病院地域医療連携ネットワークシステム』を運用しております。当院入院中の検査結果や手術所見、過去に遡っての画像検査、外来での定期検査の所見などをいつでも閲覧いただけます。

患者さんの医療情報がリアルタイムで共有できるため、円滑な医療連携を図ることができますので、まだご参加いただけていない先生方はぜひご検討をお願いいたします。

閲覧イメージ

《閲覧できる情報》

- ①血液などの各種検査結果
- ②投薬・注射内容
- ③CT、MRIなどの画像情報
- ④画像診断読影所見
- ⑤退院時要約
- ⑥手術記録
- ⑦各種サマリー(看護、リハビリ等)

《対象となる医療機関》

システム参加申込をした医療機関（医科・歯科）

《対象となる患者さん》

システム参加医療機関と当院の双方を受診している、又は今後受診予定の患者さんのうち、システムについて説明し参加医療機関において当院の患者情報を閲覧することに同意を得られた患者さん。

《閲覧に必要な機器》

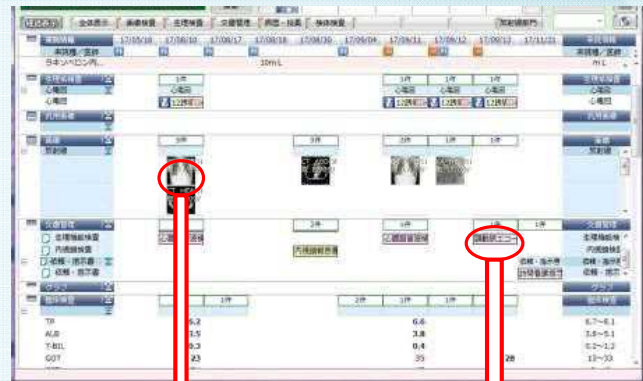
インターネット接続済のパソコン※Windowsのみ対応。

《システム利用料》

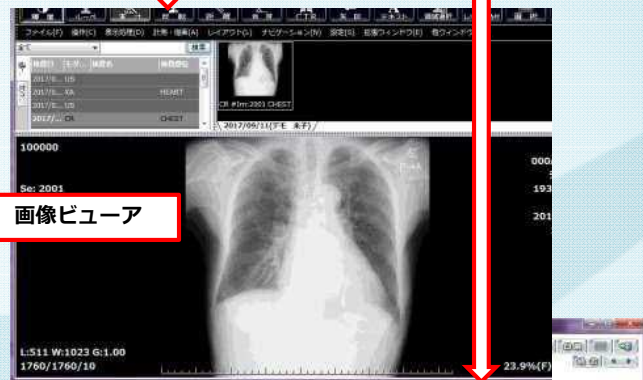
一切不要。インターネット端末に入れる専用アプリ等は当院から無償で提供いたします。

《システムの安全性》

厚生労働省『医療情報システムの安全管理に関するガイドライン』へ適合しています。専用アプリの入った端末のみが安全に地域連携サーバ上のデータ参照を行うことができ、外部への不要なデータ漏洩も防止しています。



1クリックで参照可能



画像ビューア

レポート等

ご興味がありましたら当院地域医療福祉連携室 地域連携システム担当あてご連絡ください。運用規定等、詳しい資料を送付させていただきます。

【受付時間：平日8時30分～17時 TEL：019-653-1151 地域医療福祉連携室】